

北っ子 敷島北小学校だより

令和6年11月29日 文責 学校長 増坪広夫

児童会役員選挙

11月29日(金)に来年度児童会の会長・副会長を決定する児童会役員選挙が行われました。立会演説会では、どの候補者もすばらしい演説でした。

この児童会役員選挙を通じて、高学年の皆さんがより成長し、よりよく楽しい学校になるよう様々な場面で活躍してくれることを期待しています。

過去と他人は変えることはできませんが、未来と自分自身は変えることができます。

「こうなれたらいいなあ」という想いを描き続け、時には「恥ずかしさ」や「自信のなさ」を乗り越え、今までの自分の殻を破ることも必要です。今回立候補した児童会役員候補者だけでなく、全校の皆さんが班長や学級役員といったリーダー的立場に積極的に立候補してくれることを願っています。



リーダーに必要なこと

「本当にやさしくあるためには、冷たくならなくちゃいけない時がある」

これは以前私が八ヶ岳少年自然の家で行われたスポーツ少年団リーダー研修会に参加したときの講師の言葉です。「to be nice to be cool」「ナイスであるためにはクールであれ」という格言がありますが、この考え方は指導者やリーダーが持ってなければいけないものだそうです。

先日、登校班の班長の子と話す機会があって「班員に注意すると文句を言ってくる」という相談を受けました。私も学校という組織の上に立つものとして、やりがいやその責任の大変さについて語り合いましたが、どのような場面においてもリーダーはつらいことが多いものです。



本当に正しいことをやり続ければ嫌われるものだと思います。私の体験になりますがミニスカートとルーズソックスが流行った時代に中学校に勤務していたことがありますが、その時女子生徒にかなり嫌われました。生徒指導主事をしていたこともあって生活規律と身だしなみを厳しく指導して大ブーイングを受けたのです。当時は校則が厳格に定められていましたが、先生の中には個性だと認める先生もいて、規則を守らせる立場であった私は、かなり悪者扱いにされました。

しかし、あるとき地域から「最近中学生の服装の乱れが目立つ」といった苦情が学校に寄せられると事態は一変しました。どんなときも一貫して同じ指導を繰り返していた私を支持する生徒が急増したのです。「私たちに真剣に向き合ってくれた」「ぶれずに同じ事を言い続け、厳しいけどあたたかかった」と。

本当に言わなくちゃいけないことを言わずに、その場をなんとなく和やかに過ごせるようにやさしいことしか言わないことは、実は自分が辛くなるのが嫌だから「人に優しいのではなくて自分に優しい」のかも知れません。

何か大きな目標にみんなで挑戦するような大事な場面があった時に「自分が辛くない道」と「みんなのために自分が辛くなる道」のどちらかを選ばなければならない場面で、まちがいに「自分が辛くなる道を選ぶ」人こそがリーダーなのかも知れません。

個別懇談が始まります

12月2日(月)から個別懇談が始まります。「子どもたちの健やかな成長の様子を担任と保護者で共通理解を図る」ことが目的となります。短い時間ですが有意義な時間になりますようご協力をお願いします。学校での様子はもちろんですが、家庭での過ごし方や勉強の理解度、友だち関係、こころの問題など心配なことがありましたら、ぜひこの個別懇談の機会にご相談ください。



相談の内容によっては、本校のスクールカウンセラーはもちろんですが、甲斐市や県の相談窓口やカウンセラー等をご紹介します。相談には予約が必要な場合もありますが基本経費はかかりません。

教育相談窓口

新聞報道等でご存知の通り、不登校の状態にある小中学生が毎年連続で増加し過去最多となったことが文部科学省の調査でわかりました。不登校の子どもの増加について文部科学省は、「子どもの状況に応じた教育が必要だ」という保護者の意識の変化も背景にあると考えられる。不登校の要因を的確に把握し、きめ細かな支援が必要だ」とした上で、いじめについては学校側が組織的な対応をすることで、いじめの早期の発見や対応を促していきたいとしています。



不登校の子どもの増加については学校も大変重く受け止めています。学業不振や登校しぶりだけではなく、お子さんの心配ごとがありましたら、ぜひご相談ください。より良い成長につながるような話が出来れば幸いです。

学校以外にも様々な相談窓口が存在します。なにか「教育相談」というと敷居が高いイメージを持たれるかもしれませんが、専門的な立場からお話をしていただけるだけでなく、「その子に対して、どのような対応が効果的なのか」といったアドバイスをいただける場となっています。

いじめ・不登校ホットライン(24時間子供SOSダイヤル)

※園児から高校生までのお子さん、またはその保護者が対象です

0120-0-78310 (24時間365日・通話料無料)

055-263-3711 (24時間365日)

- 匿名による相談ができます。
- 学校生活における相談を受けます。
- お悩みのことがありましたら、お気軽に御相談ください。
- 専門の相談員が、一緒に考えます。
- ヤングケアラーに関わる相談を受けます。

子供の発達相談

平日 9:00~17:00

※園児から高校生までの保護者が対象です

055-263-4606

- 発達の遅れやその心配のあるお子さんについての相談を受けます。
- お子さんの就学や進学、学校生活に関わる支援についての相談を受けます。
- 苦手な学習や活動等への関わり方などの相談を受けます。

甲斐市子ども家庭総合支援拠点

・甲斐市子育て支援課 TEL055-278-1692

甲斐市教育委員会

・心のホットライン TEL055-278-2039

・教育相談(敷島公民館) TEL055-277-1400

・家庭教育支援カウンセリング

※月3回実施 要事前予約

教育講演会で相談支援センターのチーフスクールカウンセラーからお話を聞く機会がありましたが、その講演の中で「不登校とは多様な要因・背景により結果として不登校状態になっているということであり、その行為を『問題行動』と判断してはいけない」「不登校支援のゴールは狭い意味での学校復帰ではなく、最終的には『社会的自立』にある」というお話が印象的でした。

